

2000年より国、大学及び企業の拠点形成支援を得て、東京女子医科大学先端生命医科学研究所所長として新しい先端医療で活躍する医師・研究者を養成する大学院を開始させました。多様な人材を融合結集し世界の研究主導型中核病院とも連携した先端医療研究開発拠点として早大との連携教育研究施設(TWIns)を創設致しました。その中で再生医療開発を産官学で目指す細胞シート再生医療センターを開設し、大型国プロジェクトとして発展させて来ました。角膜・心筋・食道・膝軟骨・中耳・歯周病・肺の7疾患の自家細胞シート治療を世界に先駆けて実現しました。関連する技術開発の成果と統合しつつ、米国ユタ大学等の連携大学や協力病院により、子宮、膵臓、腎臓など多くの患者が待つ多岐にわたる疾患領域での治療開発を進めております。

今後はこうした国が主導する先端融合拠点形成プロジェクトの成果を有効に活用し、アカデミアから実際の医療や産業が主導する実用化・事業化に着実に結実するフレームワークが必須となります。

これまでの拠点形成活動で進めて参りました①臨床医や実用化促進支援人材の育成・確保と有機的な一体開発、②国内外研究機関との知財・治験の相互活用と提携、③治療実現に向けた規制科学や医療経済の研究啓発活動などにタイムリーに“人と研究費”を継続投入することは大学だけでは実現できず、目の前の実現化が見えた細胞シート再生医療の発展が停止してしまう恐れすらあります。大学拠点で築き上げた人材や臨床応用ノウハウが散逸しない新たな連携スキームが求められます。

こうした問題意識からTWInsを支援・補完し、細胞シート再生医療の本格化を促進する推進組織として「細胞シート再生医療推進機構」を設立致しました。是非、この趣旨をご理解頂き、細胞シート再生医療が一日も早く世界の患者に届けられるよう、ご理解とご協力を心よりお願いする次第です。

代表理事 岡野 光夫

<機構設立の趣旨>

- ① 「細胞シート再生医療」のグローバルな共同研究およびそれを周知する啓発活動を行う
- ② 世界の患者が早期に細胞シート再生医療の恩恵を受けられる社会構築を促進する
- ③ 細胞シート再生医療の開発から普及に至る総合的・統合的な支援連携体制を築く
- ④ 臨床技術・人材・知見の分散を防ぎ、国内外で連帯して実用化するための知財集約を推進し、知の循環の中核拠点となる
- ⑤ 再生医療に関する産学“オープンイノベーション”を可能にする仕組みを整備する

<機構の役割>

- 生体臓器に生着するタンパク質を保持したiMP (intact Membrane Protein) 細胞シート工学の研究支援および細胞シートを活用した再生医療の推進
- 細胞シート研究開発、企業連携及び知財構築の支援
- 関連人材の支援と集約
- 細胞シート再生医療の世界への啓発活動の実施
- 世界の患者への細胞シート再生医療提供体制の構築・推進

法人名 : 一般社団法人 細胞シート再生医療推進機構
Organization of Cell Sheet Tissue Engineering Regenerative Medicine Initiatives (CSTERM)

住所 : 〒107-6036 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル36階
弁護士法人 瓜生糸賀法律事務所内

開発分室 : 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学 先端生命医科学センター TWIns 2階 プログラム推進室 N301号

代表理事 : 岡野 光夫

理事・監事 : 業務執行理事 江上美芽、理事 瓜生健太郎、江上博 監事 桑野博輔

設立 : 平成29年3月6日

取引銀行 : 三井住友銀行 霞が関支店